

1 年を迎える東日本大震災

私たちも忘れないで

金子和夫

東日本大震災から1年になろうとしています。岩手、宮城では新たな希望に満ちての復興が始まっていますが、いまだに先が見えないのが、福島第1原発事故ではないでしょうか。

私は、事故後岩手県気仙沼地方を訪れる機会がありました。ここに人が住んでいたのだろうかと思うほどの悲惨な状況を目の前にして、茫然と立ちすくんでしまいました。

その後、数か月して訪れたときには、少しずつではありましたが、復興の兆しが見え始めていました。しかし、全体的には、そこに住んでいた人たちの思いをしっかりと受け止めているのだろうかという思いもしました。

同時に、福島にも行かなければならなくなり、避難をしてきた人たちがいる群山までほぼ毎週のように行っていました。

こちらは、岩手や宮城県と違い放射能汚染ということで、希望が持てないままでの状況が続いています。

行ったところは、いろいろな話ができ希望が持てるような期待もしていたのですが、やがて襲って来たものに、風評被害というものがあります。

食べ物だけでなく、そこに住んでいる人まで「おまえは、放射能に汚染されている。」と言われ、子どもたちが遊ぼうとしても近寄ってこないということがあります。

わたしは、主に子どもたちの相手をするを行っていますが、この子どもたちまでもが「いつ自宅に帰れるの」「放射能を浴びて、これから大人になれるの」といった声を聞くことになりました。

1年余りたった今もこの状況は変わっていません。さらにひどくなっているともいえるでしょう。

そのひとつに、復興する手段がないために働くことすらできない人が増え、子どもたちは余儀なく貧困の生活をしているのです。

「高等学校へ行きたい」でもお金がないから無理という声を聞くことがあります。高等学校の授業料は無償ですが、学校へ行けば授業料以外のお金がかかることになり、3年間通えるのだろうか心配しているのです。

福島から、他県へ避難された人もいますが、子どもたちの中には学校になじめず不登校になったり、風評からかじめにあって不登校になっている子どもたちもいます。

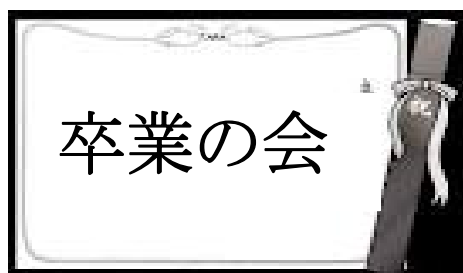
福島第1原発事故とは何であったかを私たちの問題として考えなければいけないのではないのでしょうか。

「私たちも忘れないで」という思いで書かせてもらいました。

東日本大震災復興支援プロジェクト「なかまのなかま」より1部内容を変えて

3・4月の教室予定

月	川口パートナーステーション（火曜日）					本町青少年センター（金曜日）			
3月	6日	13日	20日	27日	-	2日	9日	16日	23日
4月	3日 (全体会)	10日	17日	24日	—	6日	13日	20日	27日



今年も教室から新しい希望を持って、教室を去られる方がいます。

そのかたがたを励ます会が、卒業の会です。また残る人は4月からの新しい気持ちで出発する日でもあります。

たくさんの人が参加をしてください。

日時 3月27日（火）18時30分から

場所 川口市民パートナーステーション

会費 無料

全体会のお知らせ

全体会は、教室の1年間の方針を決める大切な会議です。

スタッフは必ず出席しましょう。また、教室は、スタッフを中心に、生徒と共に作り上げていくところです。ですから、スタッフの人は生徒も積極的に誘って参加をするようにしてください。

日時 4月3日（火）19時より

場所 川口市民パートナーステーション

*スタッフで欠席する方は、必ず代表か副代表に欠席を申し出てください。

金曜日もやっています

2月から金曜日の場所が変わったためにか、生徒の参加が少なくなっています。金曜日もこれまでと同じように、18時30分から本町青少年センターで行っています。

場所がわからない人は、スタッフに聞いて参加してください。